

事業所名		放課後等デイサービスpono		支援プログラム		作成日		令和7	年	3	月	1	日
法人（事業所）理念		障がいの有無に関わらず、自己の尊厳を保ち、個人が安心して豊かな生活を送れるような社会を実現すること											
支援方針		・ 1人ひとりが楽しく過ごせる居場所作り ・ 1人ひとりが安全で安心できる環境づくり											
営業時間 (サービス提供時間)		月曜日～金曜日：9：30～18：30（10：00～17：30） 土曜、祝祭日、学校休校日：9：00～18：00（9：30～17：00）				送迎実施の有無		あり なし					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	【食育（調理実習、おやつ作り）ADL（身辺自立等）のトレーニング】 健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出します、また生活リズムを意識した1日の過ごし方、睡眠の大切さなど体調管理についても知らせていく											
	運動・感覚	【集団活動（粗大、微細運動）野外活動（遊具、ボール遊び）など】 姿勢や運動、動作の向上や保有する感覚の総合的な活用を示します（感覚を刺激する遊びや活動の提供により、五感の発達・感性の育成を図る）											
	認知・行動	【ビジョントレーニングや個別課題（マッチング等）余暇過ごし（工作、粘土、スライム遊び）など】 感覚を活用して必要な情報を収集して認知機能の発達を促したり、物の機能や形の違い、色や音の変化を知り入ってくる情報の処理やこだわり、特性の配慮等に対する支援を行う											
	言語 コミュニケーション	【集団活動（伝言ゲームやサイレントゲーム）個別課題（学習）など】 具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけたり、相手の意図の理解や言語を受容し表出する支援を行う、ノンバーバルコミュニケーションの取得や、読み書き能力の向上を目指す											
	人間関係 社会性	【小集団での余暇過ごし（カード遊び、ごっこ遊び、ボール遊び）など】 アタッチメント（愛着行動）を形成し信頼関係の構築や適切な関係性を理解し安定した人間関係を構築する、感覚運動遊びから象徴遊びへの支援、ひとり遊びからの共同遊びへの支援、自己理解と自己コントロールを知る											
家族支援		・ 児童が最大限に成長・発達できるようその基盤となる家族生活を支援する ・ 親子や兄弟間をしっかりと構築するために必要な家族参加型の支援を行う				移行支援		・ ライフステージの切り替えを見据えた取組、事業所以外での生活や育ちの場の充実に向けた取組 ・ 地域とつながりながら日常生活を送るための取組 （児童館公民館など地域住民との交流）					
地域支援・地域連携		・ 地域との交流の機会の提供 ・ 地域イベントの共有、参加				職員の質の向上		・ 活動はPDCAサイクルを活用しP（計画）をきちんとたて、D（行動）におとしC（確認）振り返りをきちんとおこない、A（修正）改善や継続の判断を行います ・ 定期的な会社内での研修以外に、地域で行われている研修会への参加も行い、職員のレベルアップを目指しています					
主な行事等		お正月、節分、七夕、夏祭り、工場見学、お誕生日会、学期毎のお疲れ様会、ハロウィン、クリスマス会ほか											